



いの町令和の教育ビジョン
(令和7年度版)

一人一人を伸ばす教育・保育へ



高知県 いの町教育委員会

いの町令和の教育ビジョン

一人一人を伸ばす教育・保育へ

少子化・人口減少、グローバル化の進展、地球温暖化による環境問題など、様々な課題が存在する中、生成AIなどの情報化の急速な進展によるSociety5.0時代を迎え、教育の果たす役割はますます重要となっています。

これまでの「知識の暗記」「正解主義」への偏りから脱却し、学びへの興味・関心を高めるとともに幅広い資質・能力の育成に向けて「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善とICTを活用した新たな学びのスタイルを確立することが求められています。



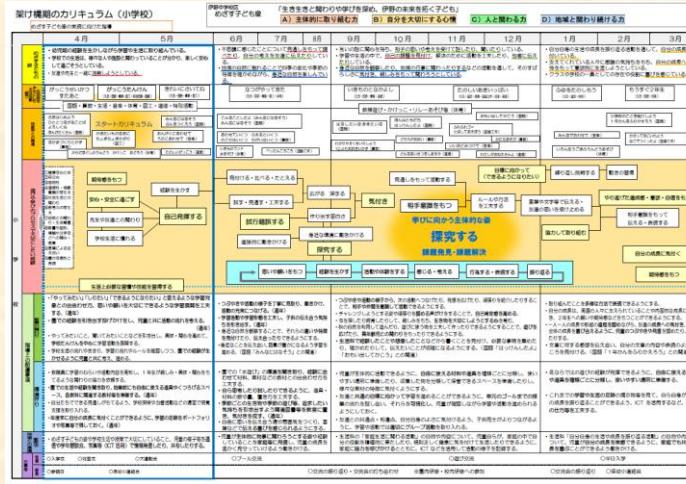
いの町では、子どもたちの好奇心やもっと知りたいと感じる経験を大切にしながら、夢中になれる時間（学び）をつくりていきます。自分で考え、判断し、他者と協働しながら、納得解を生み出すことができる、そんな一人一人を伸ばす教育・保育を目指していきます。



いの町では子どもたちの心豊かな成長を支援するため、0歳から18歳までの学びをつなげる取組に力を入れます。

1

幼児教育と義務教育の連携・接続の推進



2

小学校教科担任制の実践研究

小中学校の連携強化や教員が子どもと向き合う時間の確保による指導の充実を目指した「高知県型小学校教科担任制」を町内全ての小学校で引き続き研究します。

吾北中から吾北小
へ英語の教員の乗
り入れ授業で、より
専門性の高い授業
が行われています。



中学校教員による小学校での英語授業

伊野小では6年生2クラスの担任が授業交換により、1年間を通じて、国語と算数を一人の教員が教えています。



1人の教員が2クラスの算数を担当

各園・各小学校が連携・協力して、子どもをまんなかにした「架け橋期のカリキュラム」を作成して、カリキュラムの実践・評価・改善に取り組んでいきます。



保幼小接続部会での研修

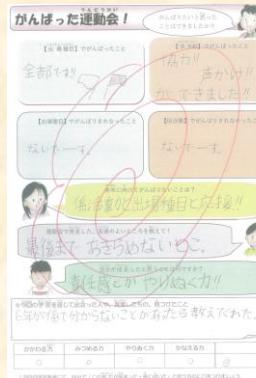


小学校教諭による幼稚園研修

3

未来を創るキャリア教育の推進

夢や将来の希望をもち、希望する進路の実現に向かうため、学級活動等におけるキャリアパスポートの活用・充実を図っていきます。



小5の時の自己評価

運動会での自分の目標を立てて取組の結果を自己評価します。学年が上がるに従って、目標や取組内容が高度になるなど、自己の成長が実感できるキャリアパスポートが作成されています。

同じ子どもの中2の時の自己評価

いの町では全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びを実現していきます。

1 今、求められる授業づくりの推進

資質・能力ベースの授業改善のため、いの町算数・数学スキルアップ研修を実施して、町内の教員が学び合う仕組みづくりを充実します。



齋藤一弥先生による授業通観



齋藤一弥先生による講話

いの町算数・数学スキルアップ研修では、高知県教育委員会教育課程指導監の齋藤一弥先生による資質・能力ベースの授業改善のための講話及び指導を積み重ねています。

2 「総合的な学習の時間」の見直し・改善

探求的な学びが求められている中にあって、各小中学校で実施している「総合的な学習の時間」のさらなる充実を目指した教育課程の見直し・改善を図ります。

【全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問調査から】

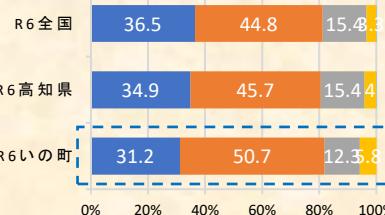
| | | |
|---------|------------------|---|
| 児童生徒質問紙 | (38) | 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか 【総合的な学習の時間】 |
| ■ 当てはまる | ■ どちらかといえば、当てはまる | ■ どちらかといえば、当てはまらない |

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

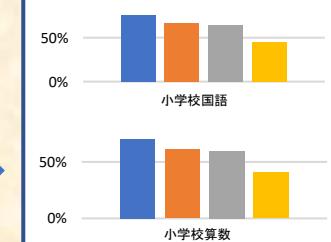


防災学習の様子

【小学校6年生】

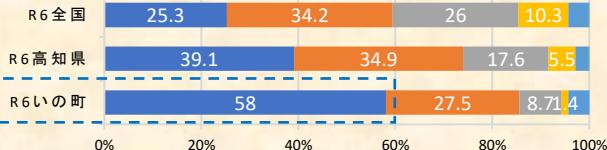


いの町児童の学力調査の正答率とのクロス集計

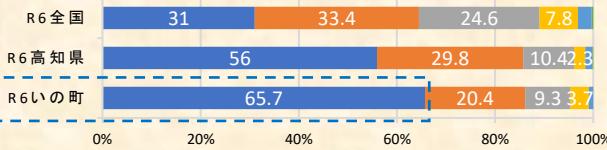


思考ツールを活用した授業の様子

【小学校6年生】



【中学校3年生】



授業でタブレット端末などのICT機器をほぼ毎日使っていると答えた町内の児童・生徒の割合が、全国・高知県よりも大幅に高いことが分かりました。

3 いの町英語教育充実プランの実施

令和6年度に策定した「いの町英語教育充実プラン」に従って、令和7年度から令和9年度の3か年計画で、外国語活動・英語教育の充実を図っていきます。

4 一人一台端末を活用した授業改善

全ての児童生徒がタブレット端末を自在に使いこなし、クラウドを活用した個に応じた新たな学びのスタイルを実践していきます。

【全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問調査から】

| | | | | | |
|---------|---------|--|---------|---------|------------|
| 児童生徒質問紙 | (27) | 小5年生(中1・2年生)までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか 【ICTを活用した新たな学び】 | | | |
| ■ ほぼ毎日 | ■ 週3回以上 | ■ 週1回以上 | ■ 月1回以上 | ■ 月1回未満 | ■ その他(無回答) |

■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満 ■ その他(無回答)



思考ツールを活用した授業の様子

防災学習の様子

誰一人取り残さない

いの町では全ての子どもに居場所があるって、一人一人に応じた学びが行き届く支援の充実に努めます。

1 全ての子どもに居場所がある教育環境の整備

伊野中学校の校内サポートルームの充実を図るとともに、学びの多様化学校（多様化教室）を設置するための研究を進めます。



校内サポートルームの様子



「学びの多様化教室」イメージ

不登校支援として令和5年度から伊野中学校内に設置した「校内サポートルーム」の充実を図るとともに、全国的に広がりつつある学びの多様化学校（多様化教室）を設置するため、その教育課程や実施方法について研究を進めます。

2 不登校支援（未然防止・初期対応・自立支援）の充実

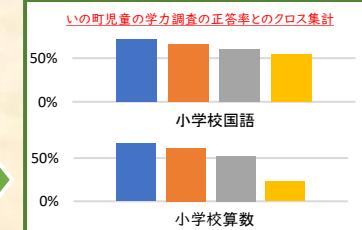
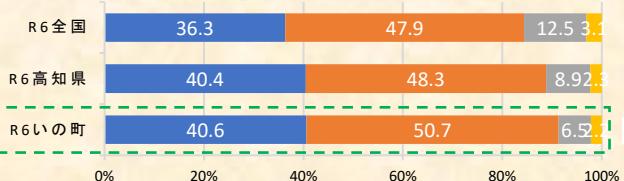
これまでの「個別最適な支援をつなぐ校区内連携（小中連携教員の配置）」「不登校支援推進プロジェクト（校内サポートルームの設置）」に加え、「夢・志を育む学級運営のための実践研究（学級活動の充実）」を進めることで、不登校支援に必要とされる「未然防止・初期対応・自立支援」を町内小中学校において総合的に実践研究を進めます。

【全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問調査から】

| | | |
|---------|------|---|
| 児童生徒質問紙 | (39) | あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか 【特別活動…学級活動】 |
|---------|------|---|

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

【小学校6年生】



3 ICTを活用した学習支援の充実

ICTを活用した自主学習や授業配信等の研究を行い、不登校児童生徒等への学習機会の確保と子どもを孤立させない体制づくりを強化します。

伊野中学校は、サポートルームやのぞみ教室で学習をする生徒に対してICTを活用した遠隔授業を実施しています。



枝川小学校は令和6・7年度県教育委員会の夢・志を育む学級運営のための実践研究の指定を受け、不登校の未然防止を目指し、学級活動を中心とした子どもにとって楽しい学級生活の実践研究を行っています。



教員研修の様子



学級会の様子

いの町では地域の力を活かして、地域と共に子どもをはぐくむ環境づくりをより一層進めます。

1 家庭学習が充実するための基本的生活習慣の確立

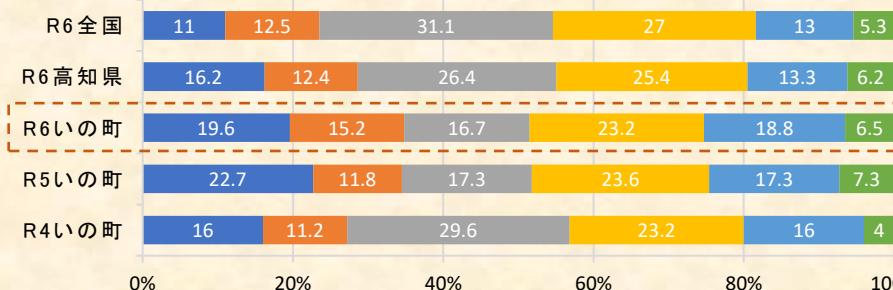
家庭学習の充実を図るため、「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的生活リズムを身に付けるとともに、「テレビゲーム・SNS・動画視聴」など携帯電話やスマートフォンの正しい使い方を学校と保護者・地域で協議・実践していきます。

【全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問調査から】

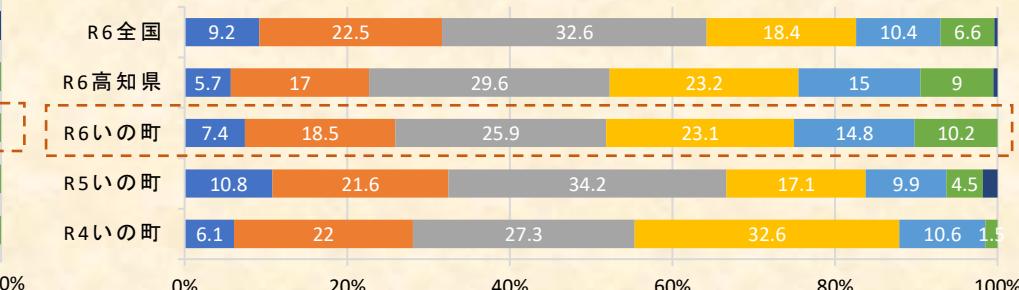
| | | |
|---------|------|--|
| 児童生徒質問紙 | (21) | 学校の授業以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます) |
|---------|------|--|

■ 3時間以上 ■ 2時間以上、3時間より少ない ■ 1時間以上、2時間より少ない ■ 30分以上、1時間より少ない ■ 30分より少ない ■ 全くない ■ その他(無回答)

【小学校第6学年】



【中学校第3学年】



いの町の児童・生徒の家庭学習時間は、1日当たり「30分より少ない(水色)」「全くない(緑色)」の割合が増加傾向にあります。令和6年度は、町内の小中学校ともに約25%と4人に一人は、1日当たりの家庭学習時間が30分よりも少ないことが分かりました。併せて、家庭学習時間が短い原因として、家庭での生活時間調査において「ゲーム・SNS・動画視聴」など携帯電話やスマートフォンに多くの時間を費やしていることも分かりました。

2 コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の一体的な推進

学校と家庭・地域がより活性化するため、保護者や地域の方々が学校運営に参画していただく「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働本部」の活動を一体的に推進していきます。



学校ボランティアによる授業の補助



学校運営協議会での熟議の様子

伊野小学校では、地域学校協働本部が学校ボランティアを募集して多くの地域の皆様の参画により学校が運営されています。また、学校運営協議会が定期的に開催され、テーマを決めて熟議が行われています。令和7年度は全ての小中学校で基本的生活習慣の確立について熟議を行っていただく予定です。

3 中学校部活動の地域連携・地域移行

引き続き、いの町の中学校部活動の在り方を検討するとともに、地域・学校間の連携による部活動の指導者の確保や活動の充実を図っていきます。

第3次 いの町教育振興基本計画

第3次いの町教育振興基本計画はいの町が目指す教育の姿を明確に示し、それらを確実に実現するために必要な教育施策や取組を体系別に整理した基本計画です。本計画期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間となっています。

目指す人間像（基本理念）

- I 郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人材
- II 命を大切にできる子どもたち
- III 学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく子どもたち

目指す人間像を実現するための基本目標

基本目標1

自尊感情が高く心豊かな人間性の育成と個性の伸長を図り、主体的・能動的に他者と協働し、社会を生き抜く力を養成する

「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」の基礎となる知識・技能や、これらを活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力等の育成を目指します。

基本目標2

安心と信頼のある保育・教育環境を整備する

就学前教育と義務教育において、質の高い保育・教育を提供するとともに、全ての子どもに居場所があつて、一人一人に応じた学びが行き届く支援を目指します。

基本目標3

学校を地域とともに創ることにより、活力あるコミュニティを形成する

学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子ども育てる体制を整え、いの町や高知県の将来を担う人材の育成を目指します。

基本目標4

生涯にわたって、子どもも大人もともに学び続けられる生涯学習社会を実現する

誰でも、いつで、どこでも興味や必要に応じて学ぶことができる環境を整備し、地域や家庭の教育力の向上を目指します。

4つの基本目標に基づいた7つの基本的方向性

- (1) 全ての子どもが輝く教育の推進
- (2) チーム学校の構築
- (3) 子どもたちのよりよい育ちへの支援の充実
- (4) 保育・教育環境の充実
- (5) 厳しい環境にある子どもたちへの支援の充実
- (6) 地域との連携・協働体制の構築
- (7) 生涯にわたり子どもも大人もともに学び続ける環境の充実

基本的方向性に位置付けられた35の施策、61の具体的な事業・取組

いの町令和の教育ビジョンは、上記の第3次いの町教育振興基本計画の着実な推進を図るため、当該年度の重点的な取組をビジョンとして示したものです。いの町や高知県の将来を担う子どもたちの健全育成のため、いの町教育委員会の取組へのご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。